

「第2回 小樽市雪対策基本計画策定 懇話会」意見交換内容（概要版）

日時：令和元年8月23日 14：00～16：00

場所：市民会館第1号集会室

出席者：委員12名（うち代理出席2名）

オブザーバ：2名

傍聴者：2名

事務局：4名

○：委員からの意見等

→：事務局の意見等

()：補足説明

1 雪対策基本計画の構成について

- 現実的な雪対策についての計画となっているが、中・長期ビジョンにたった雪対策に対する考え方もあった方が良くと思います。
- 雪対策基本計画の構成として、効率的な雪対策他、3つの柱は良くと思います。
- 具体的な取組案として、どのようにやっていくのかが重要なところと思います。
中・長期にわたって、どの方向に向かっていくのかというところを記載した方が良くと思います。

2 「市民の声」について

- 「市民の声」のなかで、山坂が多く奥行が突き当たるような小道（私道路）の両側に住宅が張り付いているような地域からの排雪に対しての意見がなかったでしょうか。
→「市民の声」に関しては、主に市道についての要望・苦情を取りまとめておりますが、私道の排雪要望も含まれていると思います。
雪対策基本計画では、私道も含めた小樽市全体の雪対策の方向性ということで取りまとめたいと考えています。
- 「市民の声」の除雪後の苦情で、「置き雪の形状が例年と違う」とは何でしょうか。
→除排雪作業を行っているオペレータが毎年、同じ人とは限らないので、人が替わると作業の仕方も変わり、除雪した雪の置き方が去年と違うという内容です。
- 「市民の声」と累積積雪深の関係は、何でしょうか。
→「市民の声」件数と累積積雪深は、ある程度相関があるものと考えています。
(第1回懇話会資料P14参照)。累積積雪深とは、日々の積雪深さの累計になるが、この数字が多いということは、雪が融けづらい気象状況であったと理解しています。
このような気象状況のときに、「市民の声」の件数も増えることとなります。

3 地域総合除雪による安全な交通の確保について

- 取組案で市の職員の方が通勤時の道路状況を報告することは、素晴らしいが、具体的にどのような方法で行うのでしょうか。
→通勤時の道路状況、車での通勤の場合、ワダチ、ザクザク、ツルツルなど、公共交通機関（バス）の場合は、ガタガタや運行の遅れ等の情報、日々気づいた時に報告する仕組みを考えています。
報告様式を作って、FAX、メール等での報告が考えられます。
- 出勤時に路面がツルツルでは意味が無いと思います。
→今回の提案は、除雪ステーションで行う道路パトロールを補完する取組として御理解ください。

○黄色いパトロール車が巡回しているのを見ると安心感があります。さらに、出勤前の時間帯も見ていただければ、市民の皆さんも安心できると思います。

○市民から除雪依頼等の写真を撮って送ってもらうことを市民の皆さんへ広めてはどうでしょうか。送る基準等のルールを決める必要があると思うが、効率的になるのと思います。

4 効率的で持続可能な雪対策の検討について

○（除雪の作業管理として、）効率的な作業ということで、望洋台地区にウェブカメラを設置し、降雪の状況を随時、スマホで確認しています。

○除雪作業の人材について、砂まき等に限定している再委託作業の禁止の解除をお願いしたい。将来の除雪事業の継続のためにも検討が必要と考えます。

○オブザーバ（国道、北海道）

除雪機械の全車種ではないが、インターネット上で位置の確認等を行っている。

○除雪機械に設置したスマートフォンに道路の情報等送られていきます。作業の指示、状況の確認ができます。

○Twitter でアプリみたいなものを使い道路の危険な箇所の情報を、交通事業者さんや市民などが情報共有すれば、道路パトロールだけでカバーできない所も可能になると思います。

→皆さんから道路の情報をいただくことは、業務の省力化になると思います。

冬の路面は刻々と変化するので、現状の情報をリアルタイムに押えることは難しいので、色々な手段で情報を入手することが大事と感じております。その方法として最新技術の活用や、アプリの開発など、皆さんも使える仕組みを考えることが重要と思います。

→他都市でも Facebook を利用して、市に写真を送ったり、情報を送ったりして共有しています。メリットもデメリットもあると思うので1つの研究材料としていく必要もあると思っています。

5 交通事業者や教育機関との連携強化について

○市内のタクシー会社8社で、配車係が道路状況について連絡を取り合っているの、ある程度、道路状況の把握ができると思います。

○バス会社さんとタクシー会社さんとの連絡、どのタイミングで定期連絡、随時の連絡体制も考えられると思います。

○（記載している）取組案にしっかり取り組んでいただければ、ある程度大丈夫かと思えます。通学路については、個々の学校事情がある。教育委員会と学校関係者の情報共有や連携が必要と考えます。

○学校付近の交差点等、子供目線に合わせての除雪が必要です。

6 協働の取組について

○貸出ダンプ制度を利用していない場所で、地域でお金を出し合い排雪している所もあります。

こういう地域に対して、事情に応じた助成があればよいと思います。

→分科会において、「貸出ダンプ制度」の利用について、協働の取組案として、「助成金制度」の提案をしています。また、札幌市で行っているようなパートナーシップ制度（生活道路の排雪）を併せて提案しています。現状では、貸出ダンプ制度の御利用について個別に相談いただきたいと考えています。

- 地域には色々な事情があり、皆一律ではない。地域の事情を鑑みて判断していただきたい。
- 小樽市で、過去に融雪槽の貸付制度があったと思います。制度の復活は考えられないのか、除雪以外に雪を融かすという視点もあってよいと思います。
- 当時、自分の敷地に融雪槽、ロードヒーティングを設置する場合、無利子で貸付けする制度はありましたが、融雪槽は雪が融けづらい等、なかなか活用されずに制度が無くなっています。
- 福祉除雪のボランティアの方が集まってくればいいですが、平日はなかなか集まらないので民間委託をするので、金額（事業費）も膨らみます。
- 福祉協議会の職員が各家庭を回って除雪作業を行っています。敷地に置き雪が出来ない場合は民間に排雪を依頼しています。
- 福祉除雪の財源は、年末歳末たすけあいの義援金ですが、年々募金額が下がっており、除雪維持をどうしていくかを考えています。
- 融雪槽のある所は福祉除雪の対象にならない。しかし、融雪槽のある場所は、運搬排雪をしなくてよいので、安くすむというメリットもあります。

7 「雪置場」について

- 排雪と雪置場をどうリンクしていくかが課題と思います。
- 河川（勝納川）への小型除雪機への排雪は可か不可でしょうか？
- 勝納川は北海道の管理ですが、「雪置場」として市が使用させていただいています。
- 人力程度の除雪作業を想定しているので、小型除雪機による排雪は市でも判断しかねます。
- 川に雪を捨てるのは良いということでしょうか。
- 原則、川に雪を捨てるのはいけません。ただし、勝納川については、川幅もありますので、人力程度の雪捨てに限定しています。
- 勝納川の地域の方は、夏は川の清掃に尽力しているので、冬は雪捨て場として開放してほしいと思う。
- 河川管理に支障がない範囲ということで、北海道と話し合いを進めたい。
- 公園に雪を捨ててよいのでしょうか。
- 原則、禁止であるが、公園内にある遊具等を壊さないよう注意して作業を行っていただきたい。
- 今後、公園管理に支障が無い範囲で「雪置場」として活用したい。
- 計画の中に、河川、公園を雪置場とすることを明記するのでしょうか。
- 明記を考えている。公園の中には土地だけ（遊具が無い）の場所もある。公園も含めて冬の生活に役立てたい。
- 市民が公園に雪を捨ててよいか問合せたら「いいですよ」と回答してもらえるのでしょうか。
- 可能と思います。
- 誰が問い合わせても同じ対応になるように、公園の情報もオープンにする必要があります。
- 廃校となった学校のグラウンドを雪置場としたり、現に使用している学校のグラウンドに一時的に雪を置けますでしょうか。
- スキー授業用に小学校のグラウンドに雪を入れたり、別の小学校では、道路の雪をグラウンド脇に置いたり活用しています。
- 5月の運動会までに融かすことの方がありますが、間に合うようであれば問題ないと考えています。

- 市の廃校となっているグラウンド跡地の利用についてですが、広い土地なので地域の雪置場として活用できますでしょうか。
- 山の上にある旧石山中学校は難しいと思うが、旧塩谷中学校、旧最上小学校は、雪堆積場として活用しています。

- 私の町内では、旧堺小学校のグラウンドを借りています。さらに小規模な雪置場として民間の土地をお願いしたが貸してくれなかったこともあります。民有地を「雪置場」として使用するとき、所有者に税制優遇（固定資産税）のメリット等を検討してほしい。

8 その他

- 流雪溝について、山・坂の多い所へ共同で使用できる流雪溝の設置は考えられないでしょうか。
- お金の問題はあるが、長期ビジョンに立った課題としていかがでしょうか。
- 市の計画の一部に入っていればいいなと思います。
- 第2回分科会において、流雪溝設置の御意見をいただいております。
- 市としては、安全管理面のこともあり、設置は難しいと回答しています。
- 市内流雪溝を設置できる場所があるのか、考えているところですが、課題も多いと思っています。
- 龍徳寺横の国道にでる交差点の路面状態が悪く（雪にまとまりが無いような状態）なるのは、なぜでしょうか。
- 冬期間の市道と国道の路面管理の方法の違いがあります。国道は融雪剤を使用し、市は圧雪管理で融雪剤を使用していないため、融雪剤の混じった雪の所が、まとまりの無い状況となります。

以上

「第2回 小樽市雪対策基本計画策定 分科会」意見交換内容（概要版）

日時：令和元年8月8日 13:30～15:25

場所：市立図書館 2階視聴覚室

出席者：委員17名

傍聴者： 2名

事務局： 2名

○：委員からの意見等
→：事務局の意見等
()：補足説明

1 貸出ダンプ制度について

- 助成金制度やパートナーシップ制度等は、すぐ実施したいのか、将来的なのでしょうか。
→将来的な提案であり、拙速には行わないと考えています。
- 玄関前や車庫前の雪は、その都度の処理が大変なので、空地や道路脇に堆積する場合もある。この場合、道路以外の雪となるのでしょうか。
→道路上の雪が対象となり、敷地内の雪が道路以外の雪となります。
- 貸出ダンプ制度の利用は、町会内の各区が主体となっているので、町会は関わっていない。助成金制度やパートナーシップ制度に移行に町会が関わる必要があれば問題と思う。区でも対象となるのでしょうか。
→町会の関わり方が今後のポイントと認識している。市としては、パートナーになるのは町会と考えています。
- 今後は、町会が関わっていく必要があると想定、検討することでよいのでしょうか。
→その様に認識していただくと、大変助かります。
- 助成金制度とパートナーシップの違いは何でしょうか。
→助成金制度は、事業主体が町会等の団体であり、パートナーシップ制度は、事業主体が市となります。事業主体の違いが制度の違いです。
- 助成金制度の事業主体は、町会等の団体とあるが、町会の関わりが大きくなるのでしょうか。
→町会の関わりが大前提となります。
- 貸出ダンプ制度の利用に私の町会は関わっていないので、今後の課題になると思います。
- 課題①、②の取組（案）は同じような取組でしょうか。
→課題①は公費負担で支払う部分とそうでない部分との区分け（場所等）です、課題②は、費用負担についてです。（市と利用団体）
- 貸出ダンプ制度の利用回数について、近年の小雪だと1回で問題ないが、多い年では1回の利用では生活に影響があります。例外も検討してほしい。

2 砂まきボランティアについて

- 砂まきボランティアは、砂箱の補充と違うのか。
→砂箱補充は、市民からの依頼や道路パトロール等で砂箱が空になった際、地域総合除雪に受託者が補充します。
砂まきボランティア制度は、市民の方に登録していただくと、市の職員が直接、個別に砂袋を配達しています。
- 配達作業の効率化、省力化は大変いいと思う。町会等団体への配達として、町会の会館を拠点として利用するのも一つの案として良いと思います。
町会も数名が登録して、それぞれが何個かでも配るように検討しています。
効率化、省力化として、市の職員の負担も軽くなり、本来業務に力を注げればと思います。

3 ロードヒーティング整備の助成（歩道）について

- 熱源によって助成は制限されるのでしょうか。
→特に熱源の制限はありません。
- もう、ほとんど整備済みなのかと思います。維持管理を含めて、経済的に余裕のある方が多いと思います。しかし、この制度を廃止するのはいかがと思うので、（年間の予算が10万円程度であれば）そのままが良いと思います。

4 大型機械作業のできない場所の除雪について

- 自治基本条例の協働のまちづくりとしては良いと思うが、人口減や町会役員の高齢化を考えると、高齢で小型除雪機の使用が危険だということで、民間業者に依頼している箇所もあります。
町会で所有した場合、誰がやるのか、保管するのか、除雪する場所によっては苦情も出ます。私の町会では高齢化などで、（小型除雪機を使用する除雪作業の）対応が困難となっています。
- 地域が協力して業者に依頼して除排雪している箇所があります。そのため、各戸の負担が大きく、今後の不安もあります。
協働をアピールするのであれば、実態を踏まえたPRをしてほしい。
出来るところは、既に行っている地域もあります。
地域の交通安全を考えたらうえて、地域内で交代しながら（小型除雪機を使用して）除雪していますので、地域の負担を軽減できるのであれば、小型除雪機の購入または借上げの支援を検討してほしい。
- ロードヒーティングに助成するなら、地域で除排雪する場合の助成も検討してほしい。

5 雪押場、雪置場の確保について

- 雪押場等における固定資産税の減免等とあるが、実施はいつでしょうか。
→あくまで検討段階であるため、令和2年度中に基本計画が完成した場合、それ以降となります。

6 町会活動を支える担い手の確保について

- 市職員の支援は大変良いと思う。
- 各町会での役員の人材不足があるので、市の職員も積極的に参画してほしい。
今度、市長に会ったら伝えようと思っていたので、伝えてほしい。
→市の職員に対しても、町会支援を呼びかけたいと思います。

7 その他

- 流雪溝について、検討できないでしょうか。
- 私も流雪溝が一番いいと思うが、小樽は山坂があり急勾配だと上手く雪が流れないと聞いたことがあります。
→流雪溝は、勾配や一定の水量も必要となる。維持管理の面でも、人が落ちたなどの安全面での問題もあるので、市としても、流雪溝を設置するのは難しいと思います。
- 8月23日に開催される懇話会は傍聴できるのか
→今日と同じ場所で、午後2時から開催しますので、傍聴できます。